

令和6年度 第9回普及啓発講演会報告書

1. 日 時：令和7年3月7日（金）10時00分～11時00分
2. 場 所：錦町市民センター
3. 演 題：①在宅療養 ②人生会議 ③もしバナゲーム
4. 講 師：門司在宅医療・介護連携支援センター 鶴 智子
5. 参加者：門司区民児協高齢者福祉部会 部会員 13名、社会福祉協議会職員3名
6. アンケート結果（回収13名）

（1）性別：男性（3名）、女性（10名）

（2）年代：50代（1名）、60代（4名）、70代（7名）、その他（1名）

（3）本日の内容について

わかりやすかった（12名）、いくらかわかりやすかった（1名）

【理由】

- ・カードを使って自分自身の振り返りができました。（2名）
- ・説明がよく、内容がわかりやすかった。



（4）あなたは、これからの治療やケアについて身近な人と話し合いたい、自分の気持ちを誰かに伝えておきたいと思いますか。

はい（12名）、いいえ（0名）、わからない（1名）

【理由】

- ・家族の望みは知っておくべきだと思います。 ・自分の思いを確実に伝えておくべき。
- ・家族が近くに住んでいないので話し合う機会がない。
- ・近所に義姉がいて、いつもこれからの事など話をしています。
- ・今の自分の身体の様子、かかりつけの病院など伝えておきたい。
- ・急に亡くなった時に話していたことを伝えることができる。

（5）もしバナゲームはいかがでしたか？

- ・はじめてしたので興味深かったです。自分が最後に何を望むのか考えさせられました。
- ・考えるきっかけになりました。 ・意図は理解できました。
- ・楽しかったですが難しかったです。 ・皆さんのいろいろな話が聞けて参考になった。
- ・いろいろと勉強になりました。楽しくできました。
- ・いろいろと考えが違って、最後に5枚が残りました。
- ・いろんなことを考える時間となりました。 ・自分の考えが明確になった。
- ・ゲームの仕方が最初のみこむのが遅くなった。途中から面白くなった。
- ・楽しかった。ひとりひとりの思いを知り、自分の思いも考えさせられました。

（6）その他、ご意見・ご感想がありましたらお聞かせください。

- ・70代後半になって大切な話でした。
- ・今77歳ですが、80歳になったら区切りとして自分たちの将来を主人と話し合うつもりです。
- ・もう一度勉強したい。

